

第 73 回西日本学生体操選手権大会

# 要項

新体操の部

西日本学生体操連盟

West Japan Gymnastics Federation of Students

## 第1編

---

【1】 期 日 2023年5月30日（火）セッティング、会場練習、補助役員会議、審判研修  
31日（水）審判会議、監督会議、開会式、競技  
6月1日（木）競技、カッティング、通過者会議、閉会式

【2】 会 場 グリーンアリーナ神戸  
（所在地）〒654-0163  
兵庫県神戸市須磨区緑台  
（TEL）075-795-5181

【3】 主 催 西日本学生体操連盟

【4】 主 管 関西学生体操連盟 九州学生体操連盟 東海北信越学生体操連盟

【5】 後 援 ※依頼予定  
兵庫県 神戸市 兵庫県教育委員会 神戸市教育委員会 読売新聞社  
（公財）日本体操協会 兵庫県体操協会 全日本学生体操連盟

【6】 協 賛 株式会社トラベルリンクス ササキスポーツ株式会社 京王観光 アトムスポーツ株式会社  
シャープ産業  
※調整中

【7】 協 力 セノ株式会社

【8】 参加資格

- 〔1〕 今年度、全日本学生体操連盟規定に基づく加盟を成した、関西支部、九州支部、東海北信越支部に所属する大学（専修学校、高等専門学校を含む、以下省略）の者。
- 〔2〕 全日本学生体操連盟への登録が4回以下の者で、各大学所在地の都道府県体操協会の定める登録規定により登録を済ませた者。
- 〔3〕 登録・加盟については（公財）日本体操協会及び全日本学生体操連盟に4月29日までに登録・加盟を成せば認める。但し、新入生は大会前日までとする。
- 〔4〕 本年度支部インカレにチームで出場した大学はチーム出場を認める。但し、チームのメンバー及び補欠は本年度支部インカレの出場の有無に関わらず任意に変更可とする。
- 〔5〕 本年度の支部インカレに個人で出場した選手は個人の出場を認める。但し、本年度支部インカレに出場していない選手への変更は認めない。
- 〔6〕 下記に該当する大学及び選手は、本大会への出場を認めるものとする。但し、大学名、選手名、理由等を書面に記入し、責任者の押印の上、所属している学生体操連盟に提出し、会長と委員長の承認を得ること。

- ・全日本学生体操連盟の登録が初回の者で、本年度支部インカレに出場できなかった者。
- ・怪我及びやむを得ない事情により本年度支部インカレに出場できなかった者。

## 第2編

---

### 【1】 競技種目

- 〔1〕 団体選手権            <男子> 徒手  
                                 <女子> フープ5・リボン3ボール2
- 〔2〕 個人総合選手権    <男子> スティック・リング・ロープ・クラブ  
                                 <女子> フープ・ボール・クラブ・リボン
- 〔3〕 種目別選手権        <男子> スティック・リング・ロープ・クラブ  
                                 <女子> フープ・ボール・クラブ・リボン

### 【2】 参加人数

- 〔1〕 <男子>  
      1チーム8名（補欠を含む）  
      個人参加は各大学無制限とする。  
      <女子>  
      1チーム6名（補欠を含む）  
      ※女子は6名の場合、全員必ずどちらかの種目に出場しなければならない。  
      個人参加は各大学8名までとする。
- 〔2〕 個人競技において、種目別のみの出場の場合は全日本学生新体操選手権大会の通過は認めない。

### 【3】 競技方法

- 〔1〕 男子…（公財）日本体操協会採点規則2022年版を適用する。  
      女子…（公財）日本体操協会採点規則2022年版—2024年版  
          及び新体操ヘルプデスク最新版を適用する。
- 〔2〕 競技中の負傷により演技の継続が不能になった場合、残りの種目の得点は0.000とする。
- 〔3〕 0.000は棄権ではなく、得点として扱う。
- 〔4〕 男女共、全ての演技は音楽伴奏付でなければならない。
- 〔5〕 試技順については以下の通り公開抽選にて行う。
  - ①個人抽選について  
      選手または大学の代表者によるくじ引きにて決定する。
  - ②団体抽選について  
      大学の代表者によるくじ引きにて決定する。
  - ③出欠について  
      本部が指定する用紙に出欠の有無を記載し、本部まで提出すること。  
      ※抽選については武庫川女子大学にて行う。日時場所は後日ホームページに掲載する。

---

【4】 順位の決定

〔1〕 団体選手権

- ・男女とも、1回の試技の得点によって順位を決定する。
- ・女子の順位は2種目の合計得点により決定する。

〔2〕 個人総合選手権

- 各種目の得点の総合得点によって決定する。
- 但し、全種目の演技を実施しなければこれに該当しない。

〔3〕 種目別選手権

- 各種目の得点によって決定する。
- 但し、全種目の演技を実施しなくても表彰の対象とする。

〔4〕 男女とも、同点の場合の順位決定は採点規則に準ずる。

【5】 表彰について

〔1〕 団体選手権

- |      |            |
|------|------------|
| 優勝   | 賞状・メダル・優勝杯 |
| 2～3位 | 賞状・メダル     |
| 4～6位 | 賞状         |

〔2〕 個人総合選手権

- |       |        |
|-------|--------|
| 優勝～3位 | 賞状・メダル |
| 4～6位  | 賞状     |

〔3〕 団体種目別選手権

- |       |    |
|-------|----|
| 優勝～3位 | 賞状 |
|-------|----|

〔4〕 個人種目別選手権

- |       |        |
|-------|--------|
| 優勝～3位 | 賞状・メダル |
| 4～6位  | 賞状     |

---

**【6】 審判員派遣について**

〔1〕 参加選手の人数によって審判員を派遣すること。派遣人数は以下の通りとする。

〈男子〉

- ・個人 2～3 名出場する大学・・・ 1 名
- ・個人 4 名以上または団体のみ出場の大学・・・ 2 名

〈女子〉

- ・個人 2～3 名出場する大学・・・ 1 名
- ・個人 4 名以上または団体のみ出場の大学・・・ 2 名
- ・個人及び団体に出場の大学・・・ 3 名以上

〔2〕 審判員の資格は 2 種以上とする。尚、学生は認めない。

但し、本部より特別に派遣する場合もある。

〔3〕 監督は原則、審判員を兼任することはできない。

但し、本部の認めたものはこの限りではないが、書面をもって本部に連絡し許可を得ること。

〔4〕 審判員を派遣できない大学は、1 名につき40,000円の依頼費をもって本部に依頼すること。

〔5〕 審判員編成については、その一切を本部に委任すること。

〔6〕 派遣審判員にかかる費用について昼食費以外は全て大学が負担すること。

**【7】 補助役員について**

〔1〕 男女団体出場校・・・ 1 名、男子個人 4 名以上出場校・・・ 1 名、女子個人 4 名以上出場校・・・ 1 名

〔2〕 男女別で派遣すること。

〔3〕 補助役員は、出来る限り審判員資格 3 種以上を有する者が望ましい。

〔4〕 補助役員を派遣できない大学は、1 名につき10,000円の依頼費をもって本部に依頼すること。

〔5〕 補助役員はセッティング・補助役員会議への参加を義務付ける。

---

【8】 I Dについて

- 〔1〕 競技中の競技区域に入れるものは、大会役員・審判員・補助役員・選手・コーチ・チームリーダーとする。
- 〔2〕 チーム出場の場合のみチームリーダーを1名つけることができる。
- 〔3〕 選手には以下の人数のコーチをつけることができる。
  - ・1チームにつき 1名
  - ・個人選手は2名につき 1名
- 〔4〕 トレーナー申請を希望する大学は、フィジカルトレーナー・メンタルトレーナーに関わらず、トレーナーの申請人数は男女共、各1名までとする。

※原則として、トレーナーは他大学の選手の身体的ケア、及び救護を行ってはいけない。  
所属大学の選手が負傷した場合は、大会本部の派遣する救護委員の指示に従うこと。
- 〔5〕 監督およびトレーナーはI Dを保持すること。但し、競技中は競技区域に入れない。
- 〔6〕 音楽系のI D保持者は、音楽席のみとする。
- 〔7〕 本部区域に入れるものは、大会役員および審判員のみとする。
- 〔8〕 競技区域および本部区域については部報に掲載する。

---

【10】 第75回全日本学生新体操選手権大会通過及び出場について

- 〔1〕 本大会に出場しない選手は、第75回全日本学生新体操選手権大会の出場を認めない。  
但し、本大会に出場していなくても、全日本学生体操連盟が推薦する選手はこの限りではない。
- 〔2〕 本大会は第75回全日本学生新体操選手権大会の予選を兼ねており、  
全日本学生体操連盟の基準に基づいて決定する。

<団体競技>

男子 …… 第73回西日本学生体操選手権大会に出場したチームが第75回全日本学生新体操選手権大会への通過を認める。

女子 …… 各大学上位8位までのチームを本大会への通過チームとして認める。

※女子は、同一大学における通過チームは、上位1チームまでとする。

それ以上のチーム数が団体総合選手権の上位8チーム内に含まれたとしても通過の対象外となる。

よって、そのチーム数分他大学の通過順位が繰り上がる。

※女子8位同点の場合の順位の優劣は採点規則に準ずる。

※通過者会議以降の繰り上げ通過は認めない。

<個人競技>

男女 …… 個人総合選手権上位25位までの選手を本大会への通過者として認める。

※同一大学における通過者は男子上位8位、女子上位6位までとする。

それ以上の人数が個人総合選手権上位25名に含まれたとしても通過の対象外とする。

よってその人数分、他大学の通過順位が繰り上がる。

※通過者が25名に達しない場合、女子は7位以降の選手の通過を認める。

この場合、点数の高い順に通過者が25名に達するまで繰り上げるものとする。

※男子25位または、同一大学内の8位が同点の場合の順位優劣は学連ルールに準ずる。

女子25位が同点の場合の順位優劣は採点規則に準ずる。

また、同一大学内の6位が同点の場合は種目別選手権において最高得点を得た選手の通過を認める。

※通過者会議以降の繰り上げ通過は認めない。

※推薦基準について（別紙参照）

※学連ルールについて（別紙参照）



## 推薦基準（女子）

---

西日本インカレ（全日本インカレ予選）に出場しない選手が、全日本インカレ出場する際の「推薦基準について」

下記事由により参加できなかった場合、該当選手はその理由を証明する書類を添えて申請する。  
出場可否の判断は学連に委ねる。

### 〔1〕 選手の資格

- ①日本体操協会において認められたナショナル選手
- ②前年度の全日本選手権大会において個人総合8位以上の成績を収めている選手
- ③その他、上記①②と同等の評価がされる選手
- ④天災、法定伝染病などの理由により、西日本インカレに出場できなかった選手

### 〔2〕 西日本インカレ出場不可の理由

- ①ナショナル選手として日本体操協会より派遣された競技会の期日と、西日本インカレの期日と重複
- ②怪我などの故障
- ③天災の影響
- ④法定伝染病などの理由により、所属大学より競技会参加の許可が下りなかった場合

### 〔3〕 参加枠の取り扱い

- ①上記2の①の場合は該当の選手の出場を認める。
- ②必ず東西日本インカレに参加登録をし、上記2の②③④の理由により棄権した場合  
大学に与えられた人数枠内（原則として6名）で、該当の選手の出場を認める。

## 男子新体操競技順位の決定における学連ルール

---

### 1. 表彰について

団体選手権、個人総合選手権、種目別選手権ともに同点は同順位として表彰する。

### 2. 通過に関する同点順位の順位優劣について

※下記の条件に当てはまるものを上位とする。

#### (1) 個人総合選手権

①個人4種目のうち1種目高得点を出した競技者。

②上記①において同点の場合、2種目目→3種目目→4種目目と順に高得点を得た競技者。

③上記②において同点の場合、抽選とする。

#### (2) 個人種目別選手権

①採点審判全員の点数を足した点数が高い競技者。

②上記①において同点の場合、主審の点数が高い競技者。

③上記②において同点の場合、1審→2審→3審・・・と順に高得点を得た競技者。

④上記③において同点の場合、抽選とする。

#### (3) 団体体操選手権（徒手、手具）

①採点審判員全員の点数を足した点数が高いチーム。

②上記①において同点の場合、構成の点数が高いチーム。

③上記②において同点の場合、構成主審の点数が高いチーム。

④上記③において同点の場合、構成1審→2審→3審・・・と順に高得点を得たチーム。

⑤上記③において同点の場合、抽選とする。

\*この順位決定方法は、学連が主催する大会のみ適用されるものとする

### 第3編 その他

---

- 【1】 テッキおよび付属品は、各大学持参すること。しかし、本部で設置するものを使用してもよい。
- 【2】 大会役員、審判員、補助役員は、競技中いかなる理由をもってしても、選手の指導、また他の任務を受諾することはできない。
- 【3】 原則として締め切り期日以降の欠場は認めるが、参加費等は返却しない。  
参加申込み締め切り時点の金額を支払うこと。
- 【4】 体育館内を使用する場合は清潔を保つように心がけ、各自責任をもって処理すること。  
大会期間中に出たごみは各大学で必ず処理すること。
- 【5】 器具及び会場設備破損の場合には、参加者全員を持ってその弁済にあたる。
- 【6】 撮影については、事前申請をしたものに限り許可する。（所属大学のみ撮影許可とする。）

## 第4編 参加申し込みについて

---

### 【1】 エントリーについて

Web締め切り	……	5月1日（月）～5月5日（金）18時まで
エントリー内容確認期間	……	5月6日（土）～5月8日（月）
振り込み期間	……	5月12日（金）まで
部報掲載予定日	……	5月18日（木）
保護者申し込み締め切り	……	5月20日（土）
新型コロナウイルス関連の書類	……	5月30日（火）入館時、受付に提出

※保護者申し込み・新型コロナウイルス関連の書類については、順次更新されるガイドラインの必要に応じ上記を締め切り日とする。

※ エントリーの詳細については別紙参照

※ プログラム作成等の準備がある為、締切日を厳守すること。

※ 期日を過ぎたものは一切受け付けない。

### 【2】 大会参加費について

団体参加費（医療費含む）	60,000円
個人1名につき参加費（医療費含む）	12,000円
医療費のみの場合※ <sup>1</sup>	750円
審判依頼費（1名につき）	40,000円
補助役員依頼費（1名につき）	10,000円
プログラム協賛金（男女別々に5名以上参加の場合のみ）	10,000円

※<sup>1</sup> 個人出場を兼ねない補欠選手は、医療費のみ支払うこと。

〔1〕 参加費は本連盟指定の銀行へ締め切り期日までに必ず大学名で振り込むこと。

尚、銀行振り込み以外は認めない。

〔2〕 大学名の前に「シン」と付け加えること。

〔3〕 原則として締め切り期日以降の欠場は認めるが、参加費等は返却しない。  
参加申込み締め切り時点の金額を支払うこと。

### 【3】 振り込み先

三井住友銀行 いたちぼり 立売堀支店（店番号：123）

口座番号：1527172 西日本学生体操連盟 会計 坂東 優樹

【4】 申し込み・問い合わせ先

〒550-0004

大阪市西区靱本町2-1-4 大阪スポーツマンクラブ内 西日本学生体操連盟

E-mail kansaigymgakuren@gmail.com

Tel 080-3850-6940 (担当：西川 桃々香)